

第27回アマ天大会「日食分科会」報告

山口 正博

第27回日本アマチュア天文研究発表大会（広島）の日食分科会に出席しました。座長は山口正博がつとめ、記録係は渋谷誠一郎氏が担当しました。出席者は8名でした。

<議題・テーマなど>

約半月に迫った南米皆既日食のコロナの予想
今世紀中に起きる日月食についての検討
日食観測一般についての留意すべき点について

<発表・意見など>

参加者の中に日食観測のベテランが多かったので、過去の貴重な経験をもとにアマチュアの日食観測にあたっての心得といった意見が多かったです。以下はその主なものである。

「標高が高いところで観測する例が多くなってきているが、高山病等に十分な注意が必要である。」

「観測までは体力と気力の温存につとめたい。特に気力がなくなると、観測する気がなくなり、あとで悔やむことになる。」

「写真ばかりとらずすこしでもながい時間、目で見える方法を考えたい。それがアマチュアの特権である。」

「欲張った観測プログラムは禁物である。」

「とはいえ、日食にはコロナ以外にもシャドウバンドなどいろいろ楽しめる現象がある。せっかく高い金をかけて行くのだから、いろいろ楽しみたいものだ。」

<出席者名簿・コメント>

渋谷誠一郎（川崎天文同好会） なんだかんだで皆既を10年見てません。コロナ禁断症状

山根 秋郷（東京天文グループ） 久々にブラジル日食を計画しておりましたが、休みがつかず断念残念です。来秋のタイ日食行きたいですね。

山口 正博（OAA） 日食はほんとうにきれいですね。

小山ヒサ子（OAA） 特に極小期のコロナが見たいと思います。

船田 工（大分天文協会） 11月3日のブラジル日食に行きます。

猪原 正徳（広島） 11月3日ブラジルに行きます。今回が5回になります。

川合 慶一（平塚天体観測会） 11月3日ブラジルへ行きます。コロナのスケッチを予定しています。

石川 郁 今年の日食は行けませんが、来年10月の日食には行きたいと思っています。今までは皆既は見ることがありません。（金環は沖縄の時に行了きました。）